

か、ハッキリさせるのが曝露である、曝露はアヂの前提をなすものでありスローガンと結合せねばならぬ。従つて暴落は大衆の不平不満から出發して資本家地主政府を先頭とする全支配機構資本主義制度そのものにむけられなければならない。

煽動は闘争はどうなつて居るかやどうすれば勝利を得られるかを種々の實例を引いて曝露によつてはつきりなつた、敵の欺瞞、壓迫に對して大衆の不平不満を煽りたてる事である。

然も先頭にたつものは自からの行動によつて實例を實際的に示す事が必要である。

スローガンは大衆闘争の心臓である、曝露と煽動によつて煽られた大衆に刻々目標を與へて大衆を一定の行動に動員するものでなければならぬ。大衆の鯨波の聲となるものでなければならぬ。

従つてスローガンは機械的羅列であつてはならない闘争の發展につれて特殊的發展的でないならばならぬ、そして簡潔で魅力的で敵のスローガンと鋭く對立せむばならぬ。

更に我等以上の如く大衆闘争を展開し之が解決後は限せねばならぬ、それは上からの働きと下からの働きかけがなされ、統一野蠻確立の爲の闘争と結びつかねばならぬ。

以上の方針にもどつき新執行部は組織運動を積極的に展開すべし。

第十六號 生活防衛闘争に関する件

主 文

我等は、無産大衆の生活防衛のために、無産大衆の不平不満、反抗を激發し、統一し、本闘争をブルジョアジーの政治支配に向けて集中せんとするものである。

主要なる闘争題目

- 一、無産大衆の支拂猶餘、借金の元利棒引
- 二、煙草、鐵道、郵電料金の徹底値下げ
- 三、無産大衆には税金減免、資本家地主には租税重課
- 四、家賃の猶餘、空家税の創設
- 五、無産大衆の電燈、瓦斯、水道料金値下げ
- 六、電車賃、乗合自動車料金値下げ
- 七、軍需財源で無産者税を減免せよ
- 八、首切り、賃銀引下げ反対（都市）

演説會、座談會、研究會等によつて

(一) 闘争の原因 (二) 闘争の形態、(三) 解決の條件 (四) 黨とは如何なるものか (五) 組織の力等々を大衆に訴へて解決を通じての組織宣傳を行はねばならぬ。

五、未組織大衆は我等の選挙闘争を通じて我黨の運動に参加せしめ組織すべきである。

三、經濟團體に對する關係

我等は更に農民組合労働組合借家人組合等に組織された大衆に働きかけ黨に組織せねばならぬ。

黨は之等の組織團體の展開する闘争をば全力的に支持し應援し、協力し、この過程に於て黨は組合との間に支持關係を結び組合員大衆を黨の影響下におき漸次その先進分子を黨へ組織せねばならぬ。

四、議會闘争と大衆闘争の連鎖

我黨所屬議員の議會（地方議會）の行動は常に大衆闘争と連鎖の下に行はれ、議員は大衆闘争の尖端として活動せねばならぬ。

五、共同闘争

闘争の擴大化の爲に我黨は他生産政黨と共同闘争を展開

九、小作料の五割減免（農村）

理 由

生活防衛闘争は合同大會と共にすでに活潑に戦はれてゐる。中央執行委員會は九月一日指令を發し次いで本部に生活防衛闘争委員會を組織して闘争を統一、指導しつゝある闘争題目は闘争の發展、變化と共に若干の改廢がなされてゐる。かうした防衛闘争の個々の題目は黨大會後にも、あらゆる状態の發展、變化に對應しておこなわれねばならぬしかし當面、防衛闘争の一般並に闘争題目決定の基準は次ぎの理由に基づくものである。

一、主文によつても明白な如く無産大衆の生活防衛のために、日常的生活に於ける不平、不満、反抗を激發し闘争を統一するにある。

二、無産大衆の日常的生活を特に一般的に加重ならしめてゐるもの、即ち不平、不満の最も高く又廣汎なるものを闘争題目としてとりあける。

三、また、かゝる闘争を、(一) 國家資本又は獨占金融資本に向け、(二) ブルジョアジーの政治支配に集中し且つ(三) 地方的部分的要求を全國的要求にまで昇め得る發展性を持つ闘争題目たることを必要とする。